

## 《単位互換提供科目詳細》

\* 科目 No. 1118

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学	科目開講 キャンパス	本学
2. 科目名	正式科目名	電子金融取引Ⅱ	
	副題	情報技術と決済システムの実際について学ぶ	
	旧科目名		
	学問分野	番号	27
		名称	社会科学系, その他
	サテライトで開講される科目の科目群		A 群 B 群
3. 担当教員名	久保 大支・ビジネス情報・助教		
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	後期
6. 開講期間 曜日・時間	2018 年 9 月 25 日 (火) ~ 2019 年 1 月 15 日 (火) 火曜日 9:00 ~ 10:30		
個別開講日	1 回目 9/25	2 回目 10/2	3 回目 10/9
	4 回目 10/16	5 回目 10/23	6 回目 10/30
	7 回目 11/6	8 回目 11/13	9 回目 11/27
	10 回目 12/4	11 回目 12/11	12 回目 12/18
	13 回目 12/25	14 回目 1/8	15 回目 1/15
	16 回目	試験日	/
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」		
8. 募集人数 (総授業定員)	制限なし (人)	9. 定員超過時の 選考方法	なし
10. 科目内容・ 授業計画	<p>1. 授業内容</p> <p>情報通信技術(ICT)革命の進展は、金融サービス・金融市場においても急速に様々な構造的変化をもたらしています。本講義では、このようなサービス、市場における電子的な取引について、理論的な分析と実際のケーススタディの両面から考察します。そして特に、この「電子金融取引Ⅱ」では電子的取引に伴って発生する様々な副次的ではあるが重要な問題に焦点を当てます。</p> <p>そしてこれらを、LMS(Learning Management System)を通して課される毎回の「講義のまとめ」やトピックごとに課される課題とそのフィードバックの確認により、より深めます。</p> <p>2. 授業計画</p> <p>第 1 回 Ch.0 イン트로ダクション: 講義概説, 成績評価法, 目的と方法論 Ch.1 電子金融取引の現状 (1): 電子金融取引の定義, 現状, 予測</p> <p>第 2 回 Ch.1 電子金融取引の現状(2): 電子商取引, デビットカード (rep.1)</p> <p>第 3 回 Ch.2 電子金融取引とセキュリティ(1): SET と SSL</p> <p>第 4 回 Ch.2 電子金融取引とセキュリティ(2): 公開鍵方式, 電子署名, PKI(rep.2)</p> <p>第 5 回 Ch.2 電子金融取引とセキュリティ(3): ブロックチェーン(rep.3)</p> <p>第 6 回 Ch.3 電子マネー (1): 電子マネーの定義・歴史・分類</p> <p>第 7 回 Ch.3 電子マネー (2): 非接触 IC 技術, Felica</p>		

10. 科目内容・ 授業計画	<p>第 8 回 Ch.3 電子マネー (3):Edy, Suica, nanaco (rep.4)  第 9 回 Ch.4 仮想通貨(1):仮想通貨の定義・歴史・分類(rep.5)  第 10 回 Ch.4 仮想通貨(2):ビットコイン  第 11 回 Ch.4 仮想通貨(3):オルトコインとその現状(rep.6)  第 12 回 Ch.4 電子金融取引と今後(1):フィンテックの現状(1)  第 13 回 Ch.5 電子金融取引と今後(2):フィンテックの現状(2) (rep.7)  第 14 回 Ch.5 電子金融取引と今後(3):電子金融取引と法制度  第 15 回 Ch.5 電子金融取引と今後(4):電子金融取引と社会(rep.8)</p>		
11. 試験・評価方法	<p>定期試験を実施します。  ・課題は, A=10 点, B=8 点, C=6 点(以上が合格), 再提出(不合格)の 4 段階で評価します。  ・最終的な成績は課題・小テスト:40%, 定期試験(参照不可):60%の比率で総合的に評価します。  ・以上にかかわらずレポート未提出(不合格含む)3 回以上で単位認定不能とします。</p>		
12. 別途負担費用	ありません。		
13. その他特記事項	<p>・電子金融取引 I のより現実的な応用を知るために, 後期に開講される電子金融取引 II とセットで履修することが望まれます。  ・①授業への参加, ②終了時アンケート, ③授業のまとめの提出をもって「出席」とみなします。  ・遅刻は 2 回で 1 回の欠席とみなします。</p>		
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生(単位付与)として受け入れ	可	否
	聴講生(単位認定不要)として受け入れ	可	否